中根淑著

日本小文典

下

KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
Kodak LICENSED PRODUCT
Centimetres Inches

V
20734
教科書文庫
2
815
31-1876
0130
449330

日本小文典卷之下

中根淑著ス

動詞

○動詞ハ、働キヲナス言葉ニシテ、即視ル・聽ク・喜ブ・怒ル・往ク・來ル・取ル・遣ル等ノ如キ類ヲ云フ、凡話シニテモ、文章ニテモ、此ノ動詞ト云フ者ナキハ、其ノ意味通ゼザル故、言葉ノ中ニ於キテ、至リテ肝要ナル者ナリ、

動詞ノ中、種類甚多シ、即單用動詞・重用動詞・自動詞・他動詞・順動詞・逆動詞・規則動詞・不規則動詞及

ビ・助動詞・分詞・等ノ差別アリ、

單用動詞

○單用動詞トハ、初メニ擧ゲタル・視ル・聽ク・ノ如ク、唯一言ニテ、其ノ働キヲ言ヒ盡クス者ヲ云フ、即・花ヲ視ル・話シヲ聽ク・ト云ヘバ、唯一言ニテ、其ノ意味全ク盡クルガ如シ、

重用動詞

○重用動詞トハ、動詞ヲ重子テ用フルヲ云フ、即花ヲ視盡クス・話シヲ打チ聽ク・ノ如シ、是ハ一ノ動詞ニテハ、其ノ意味ヲ盡サヾル故、箇樣ニ重子テ用フルナリ、其ノ言葉ノ拵リ方ニ由リテハ、視盡クス・切ル・打チ聽ク・蹴ハズ・抔ト、三モ四モ、重ヌ

ルヿアリ、

自動詞

○自動詞トハ、其ノ言葉獨自働キヲナシテ、外ノ言葉ニ、意味ヲ移サヌ者ヲ云フ、比ヘバ・彼ハ行ク・ト云ヘバ、行ク・ト云フ言葉、彼ノ・働キヲ顯シタルノミニテ、別ニ外ノ言葉ニハ、移ラザルナリ、

他動詞

○他動詞トハ、其ノ言葉ノ意味、上ノ幾言ニモ、通ジテ移ル者ヲ云フ、即・彼ハ學校ヘ行ク・ト云ヘバ、行ク・ト云フ言葉、彼ヨリ學校ヘ拵ケテ移リ、彼ハ吾ト學校ヘ行ク・ト云ヘバ、彼ヨリ吾ト學校トヘ拵ケラ移ルナリ、此ノ類ノ言葉ヲ他動詞ト云フ、

順動詞　逆動詞

○動詞中我ヨリ働キ掛クル言葉ヲ、順動詞ト云ヒ、我ガ受ケ身ニナル言葉ヲ、逆動詞ト云フ、即貞時又久明親王ヲ廢ス其ノ子守邦王大將軍ニ任ゼラル・ト云フ文ノ、廢スト云フ動詞ハ、貞時カ久明親王ヘ、働キ掛クルヿ故、順動詞ナリ、任ゼラルト云フ動詞ハ、守邦王ガ受ケ身トナリテ、外ヨリ仕掛ケラルヽヿ故、逆動詞ナリ、此ノ差別善ク察スベシ、

人ヲ尊ム言葉遣ヒニハ、逆動詞ヲ順動詞ニ用フルヿアリ、目上ノ人ノ言ヒ出スヿヲ、仰セラルヽト云フカ如シ、

規則動詞

○規則動詞トハ、動詞ノ語尾ヲ種々ニ變ズルニ、定リタル規則アルヲ云フ、是ニ五ノ種類アリ、即四段・一段・中二段・下二段・三段等ノ働キノ差別アリ、委キヿハ、下ノ圖ヲ見テ知ルベシ、

四段ノ働キハ、

動詞ノ働キノ圖

其ノ語尾ヲ、縦行中ノ四段ニ變ズ、一段ノ働キハ、外ノ段ヘ

四段ノ段

飽ア	カ	キ	ク	ケ
押オ	サ	シ	ス	セ
打ウ	タ	チ	ツ	テ

働キ　一段ノ働キ

逢ハヒフヘ　住マミムメ　釣ラリルレ　起キク

變ゼズ、中二段ノ働キハ、羅行ノ中ノ中二段ニ變ズ、其ノ餘ノ段モ、之ヲ推シテ知ルベシ、茲ニ示シタル、飽ク・押ス等ノ言葉ハ、唯例ニ擧ゲタルノミニテ、是ニ限リタル譯ニハ非ズ、比ヘバ行クト云フ言葉モ、行カン・行キ・行ク・行ケ・ト四段ニ働キ、益スト云フ言葉モ、益サン・益シ・益ス・益セ・ト四段ニ

中二段ノ働キ　下

落ヲ　戀フ　試ミ　老イ　舊ユ　率ウ　得エ　受ケ　獲セ　拾テ

二段ノ働キ

兼　ヌ子
辨　フヘ
譽　ムメ
消　ユエ
枯　ルレ
鐵　ウエ

三段ノ働キ

為　シスセ
約　シスセ

働クガ如シ、外ノ段ノ言葉モ、皆此ノ通リナリ、

三段ノ働キハ、唯一ノ為ノ字ノ變化ト、漢語ノ動詞ノ變化トニ、限ルノリ、元来漢語ニハ、シ・ス・セ・ヲ添ヘザレバ、動詞トナラザル故、之ヲ著クタル儘、一ノ言葉トスルナリ、或ハ文章ノ摸様ニ由リテ、之ヲ略スコトアリ、雖横書撃之ヲ破ル・ト云フ文ノ書撃ハ、動詞ナレ共、語尾ヲ略スルガ如シ、約ノ字ハ、漢語ノ例ニ擧ゲタル者ナリ、何レノ段ニテモ、語尾ヲ濁ル言葉ハ、其ノ變化モ、皆濁ルナリ、閉ダ・閉ヅ・積ド・續ク・感ジ・感ズ等ノ如シ、

不規則動詞

○不規則動詞トハ、總テ前ニ擧ゲタル、規則動詞ノ圖ニ當ラヌ言葉ヲ云フ、即来ハ・來・來ト中二

段ノ外、別ニ来トモ變ズル故、不規則動詞ナリ、此ノ類ノ言葉ハ、外ニハ無キナリ、

シヲ語尾ニ持チタル、善シ・悪シ・強シ・弱シ・高シ・低シ・等ノ言葉モ、不規則動詞ナリ、此ノ言葉ハ、必加縱行ノ變化ヲモスルナリ、即善キ・善ク・悪キ・悪ク等ノ如シ、

又シヲ語尾ニ持チタル、嬉・悲・樂・苦等ノ言葉モ、不規則動詞ナリ、此ノ言葉ハ、必別ニ加縱行ノ變化ヲスルナリ、即嬉キ・嬉ク・悲キ・悲ク等ノ如シ、

右兩樣ノ動詞、如縱行抔ノ變化ヲナストキハ、規則動詞ナリ、然レ共シヲ以終ルトキハ、一種異リタル形ノ動詞故、不規則動詞トスルナリ、

助動詞

○助動詞ハ、大抵動詞ノ後ニ添フテ、其ノ意味ノ足ラヌ所ヲ、十分ニスル者ナリ、比ヘバ流リ・流レ・ト云ヒタル計リニテハ、其ノ意味未足ラズ、之ニ流サシ・流レリト、助動詞ヲ添フルトキハ、其ノ意味全ク足ルナリ、扨此ノ助動詞ニ、時ト云フアリ、即過去・現在・未来ナリ、

過去

○過去トハ、最早過ギ去リタル時ヲ顯スヲ云フ、之ニ充分ト不充分トノ別アリ、充分過去トハ、

現在

其ノ時既過ギ去リテ、遠キ前ノコトナリタルヲ云フ、即昔ハ學校鮮クアリシノ如シ、不充分過去トハ、其ノ事前ニ在レ共、全クハ過ギ去ラヌ者ヲ云フ、即近頃数多ノ學校ヲ建テリノ如シ、

○現在トハ、今為ス時ヲ顕スヲ云フ、之ニ亦充分現在ト云フアリ、是ハ其ノ事今僅ニ終ルヲ云フ、即余書ヲ讀ミ了リタリノ如シ、其ノ充分ナラザル者ハ、今丁度之ヲ為スヲ云フ、即余書ヲ見ルノ如シ、扨此ノ時ヲ顕ス言葉ハ、何レモ助動詞ヲ假ルコトナレ共、唯現在ノ動詞ノミハ、之ヲ假ル者ト、

未来

假ラヌ者トアリ、比ヘバ飽キ飽ク飽ケ約シ約ス約セノ如ク、如何程語尾ヲ變化シテモ、意味ニ於キテ充分ナルトキハ、別ニ助動詞ヲ用ヒズ、落ツル試ムル約スルノ如ク、助動詞無ケレバ、其ノ意味充分ナラヌトキハ、之ヲ添フルナリ、

○未来トハ、今ヨリ後ノ時ヲ、前以顕スヲ云フ、是ニモ充分ト不充分トノ別チアリ、充分未来トハ、其ノ事全ク後ニ在リテ、他ノ時ニ関ラヌ者ヲ云フ、即余ハ明日讀マジノ如シ、不充分未来トハ、過去ノ事ニテモ、現在ノ事ニテモ、大方是ハ箇様ナ

ラント、推量スルヲ云フ、即彼ハ讀ミタラン・ノ如シ、

助動詞ノ圖

未分過去	不充分過去	充分現在
ケリ	リ	タリ
ケル	ル	タル
ケレ	レ	タレ
キ	ヌ	ナリ
シ	ヌル	ナル
	ヌレ	ナレ
	ツ	タリ
	ツル	タル
	ツレ	タレ

助動詞ヲ重子タル、ナリ・タリ・タリシ・ノ類ハ、上ノ言葉ハ、其ノ事柄ノ時ヲ示シ、下ノ言葉ハ、之ヲ語ル時ヲ示スナリ、例ヘバ・行キタリシ・ト云フハ、行キタリ・ガ充分現在ナリ、其ノ・行キタリ・ヲ語ルニ付キテ、充分過去ノシヲ用ヒタルナリ、其ノ外ノ言葉モ、皆此ノ例ナリ、

現在	充分未來・不充分未來
ル	ン
ラル	ナン
レ	ラン
ラク	ナラン
ツ	タラン
ツル	ツラン
ツレ	

不成助動詞

○前ニ擧ゲタル助動詞ノ外、別ニ不成助動詞ト云フ者アリ、是ハ前ノ事ヲ打チ消シテ、成シ遂ゲヌ樣ニスル言葉ニシテ、現在ト未來トノ時ヲ顯セリ、即見ズ・見ジ・ノ如シ、若過去ヲ顯サントスル

普通助動詞

キハ、前ニ擧ゲタル過去ノ助動詞ヲ添ヘテ、之ヲ示スナリ、即見ザリシ・ノ如シ、

○助動詞及ビ不成助動詞ノ外、別ニ普通助動詞ト云フアリ、即吾カ・人カ・見ルヤ・見ザルヤ・童ヨ・學ベヨ・樂キカナ・等ノカ・ヤ・ヨ・カナ・ノ如キ

現在　ズ　ヌ　子
ザラ　ザリ　ザル　ザレ

未來　シ　マシ

ズ・ヌ・ハ、語尾ニ・ヲ・特ツ故、別ニ・ヤ・シ・ヤ・マ・ト、加縫行ノ変化アリスナリ、

不成助動詞ノ圖

半助動詞

動詞ノ法

是ナリ、凡助動詞ハ皆一ノ時ヲ持ナタル者ナレ共、是ハ上ノ言葉ノ時ニ随ヒ、三時ニ通ジテ用フルナリ、比ヘバ見シカ・ト云ヘバ過去、見ルカト云ベバ現在、見ンカ・ト云ヘバ、未來ナルガ如シ、

○動詞ノ形ヲ具ヘタル言葉ニテ、助動詞ノ如ク、外ノ言葉ノ後ニ就キテ、其ノ意味ヲ助ケ成ス者アリ、之ヲ半助動詞ト云フ、即視ル可シ・聽キ得ル・言ヒ能フ・動カ使ム・等ノ類ナリ、

○動詞ニハ、法ト云フ者アリ、是ハ過去現在未來ニ拘ラズ、其ノ言葉ノ屬スベキ定リアルヲ云フ、

比ヘバ・余行ク・ト云ヘバ、直ニ自分ノ行クヿヲ顯シ、君行ケ・ト云ヘバ、人ヲ勸メテ行カシムルヿヲ顯スナリ、今此ノ類ヲ分チテ四法トス、即直說法・不成法・疑問法・命令法等ナリ、

直說法

○直說法ハ、其ノ儘ノ働キヲ顯ス者ナリ、即書ヲ讀メリ・字ヲ習フ・筭ヲ學バシ・等ノ如シ、

不成法

○不成法ハ、總テ其ノ言葉ヲ打チ消ス働キヲ顯ス者ナリ、即書ヲ讀マザリキ・字ヲ學バズ・筭ヲ學バザラジ・等ノ如シ、其ノ他讀マンヤ・ト云フ反語ハ、不成法ナレ共、讀マザランヤ・ト云フトキハ、却リテ讀ムヿトナル故、不成法ヲ持チタル直說法ナリ、

疑問法

○疑問法ハ、疑ハシキヿヲ尋ヌル働キヲ顯ス者ナリ、即讀ムヤ・學バザルヤ・等ノ如シ、此ノ・學バザルヤ・ノ類ハ、不成法ヲ持チタル疑問法ナリ、

命令法

○命令法ハ、命ズルヿヤ、願フヿヤ、又ハ戒ムルヿヲ示ノ働キヲ顯ス者ナリ、即讀メ・教ヘラレヨ・勉ムベシ・等ノ如シ、又・忘レザルベシ・ノ如キハ、不成法ヲ持チタル命令法ト知ルベシ、

○分詞ハ、動詞ト同形リノ言葉ナリ唯常ニ名詞

ノ上ニ在リテ、之ヲ形容シ、半分ハ動詞ノ如ク、半分ハ形容詞ノ如クナル故、之ヲ分詞ト云フ、比ヘバ、働ク時ハ勞ヲ厭ハズ、ト云フ文ノ働クハ、動詞ナレ共時ト云フ名詞ヲ形容スルヲ以見レバ、形容詞ノ状モアルナリ、此ノ類ノ言葉ヲ分詞ト云フナリ、

助動詞ヲ添ヘタル分詞

○分詞ハ、助動詞ヲ添ヘタル儘、名詞ヲ形容スル事多シ、即知ラヌ事ハ知リタル人ニ問フヲ恥ヂズ、ノ如シ、

成句分詞

○種々ノ言葉ヲ合ハセテ句トナシ、其ノ句ヲ以、名詞ヲ形容スル者ヲ、成句分詞ト云フ、即陸地ノ間ヲ流ルヽ水、ト云フ文ハ、唯流ルヽ、ト云フ言葉ノミガ水ト云フ名詞ニ掛ルノミナラズ、陸地ノ間ヲ、ト云フ處ヨリ、合ハセテ掛ルナリ、是等ノ類ヲ成句分詞ト云フ、

合成動詞

○動詞ノ上ニ、外ノ言葉ヲ持チタル者モ、熟語トナリタル時ハ、一ノ動詞ト見做スベシ、比ヘバ、氣遣フ、直諫ス、等ノ氣ハ名詞、直ハ副詞ナレ共、何レモ下ノ動詞ト熟シテ、一語トナリタル者故、合成動詞トスルナリ、

副詞

○副詞ハ、大抵動詞ノ上ニ副フテ、動詞ノ様子ヲ、細ニ顯ス者ニシテ、猶名詞ノ上ニ形容詞ヲ添フルガ如キ者ナリ、其ノ言葉ヲ細ニ分ツトキハ、六ノ種類アリ、即作為地位、時刻、分量、決定、非否、等ナリ、作為トハ、自然ニ為ルヿ、又ハ人ノ為スヿノ有リ様、仕方ヲ云フ、即朝晴ル、善ク讀ム、何ゾ知ラン、等ノ如シ、是ノ何ゾハ、動詞ヲ強ク押ヘテ、反語トスル者ニシテ、疑問代名詞ノ、疑ヒヲ問フ言葉トハ自異リ、地位トハ其ノ場所ヲ云フ、即何レニ往ク、此處ニ至ル、等ノ如シ、時刻トハ時ノ早サ遲サヲ云フ、即何時及ビ、徐ニ、速ニ、等ノ如シ、或ハ地位ノ、コヽ、ソコヽヲ、時刻ニ用フルヿアリ、コヽニ於キテ、ソコデ往ク、等ノ如シ、分量トハ、大サ小サ多サ寡サヲ云フ、即大ニ喜ブ、甚弁シ、等ノ如シ、決定トハ、物事ヲ慥ニ定ムルヲ云フ、即必為ス、誠　樂シ、等ノ如シ、非否トハ否ミ嫌フヿヲ云フ、即否、否々、等ノ如シ、

○副詞ハ、形容詞ト似タル者ニテ、唯其ノ語尾ト、添フベキ言葉トヲ異ニス、其ノ類四アリ、第一形ヲ變ゼザル者、第二語尾ニクヲ持ツ者、第三後詞

形ヲ變ゼザル副詞

語尾ニクヲ持ツ副詞

ニヲ添フル副詞

ノニヲ添フル者、第四動詞ヨリ變スル者、

○形ヲ變ゼザル者トハ、初メヨリ副詞ニ作リタル言葉ヲ、其ノ儘用フル者ヲ云フ、即各屢、唯、殆、稍、略、頗、甚等ノ類ナリ、

○語尾ニクヲ持ツ者トハ即善ク讀ム、悪ク書ク、浅ク掘ル、深ク浚フ、禁ク送ル、美ク咲ク、等ノ如シ、

○後詞ノニヲ添フル者トハ即愚ニ考フ、暖ニ恐ラス、柔和ニ言フ、等ノ如シ、

或ハ、實ニ以、ト云フヲ、實以、ト云ヒ、縱横ニ奮撃ス、ト云フヲ、縱横奮撃ス、ト云フ如キハ、皆ニヲ略シ

動詞ヨリ變ズル副詞

タル者ナリ、

○動詞ヨリ變ズル者トハ、其ノ形ハ動詞ト同ケレ共、全ク副詞トシテ用フル者ヲ云フ、即行ク、々見ル、至リテ、尊シ、等ノ如シ、

右ノ外、最モ、多クハ、熟ト、等ノ如ク、種々ノ後詞ヲ添ヘタル副詞アレ共、縱令之ヲ添ヘザルモ、副詞ニ相異ナキ者ナレバ、前ノ名詞ニヲ添ヘテ、副詞トスルトハ異リテ、規則中ニハ非ザルナリ、

○凡副詞ニ二ノ差別アリ、之ヲ正用副詞變用副詞ト云フ、

正用副詞

○正用副詞ト・ハ、副詞ノ特チ前ノ遣ヒ方ニテ、必動詞ノ上ニ添フテ、其ノ動詞ノ働キヲ、細ニ顯ス者ナリ、即・會遇ヲ・強ク擊ツ事ノ如シ、或ハ二三詞ヲ越シテ、上ヨリ動詞ニ添フ者アリ、即・深ク此ノ理ヲ知ル・ノ如シ、

変用副詞

非否ノ言葉ハ、外ノ副詞ト異リテ、動詞ノ上ニ添ハザレ共、是亦正用中ノ者トス、

○副詞ハ動詞ニ添フヲ以、當然トスレ共、中ニハ外ノ言葉ニ添フ者アリ、之ヲ變用副詞ト云フ、即・備東・ト云フハ名詞ニ添ヒタル者、正ニ是・ト云フハ、代名詞ニ添ヒタル者、大ニ・赤キ色・ト云フハ、形容詞ニ添ヒタル者、正ニ・且・ト云フハ、接續詞ニ添ヒタル者、只正ニ・ト云フハ、重ネテ副詞ニ添ヒタル者ナリ、其ノ外蓋此ヲ謂フナリ・ノ類ハ、蓋ノ字下ノ全句ニ拭ル者ニシテ、亦變用副詞ナリ、

成句副詞

○一句ノ儘動詞ニ添フ者ヲ、成句副詞ト云フ、即・思ヒ寄ラズ逢フ・ノ如キ類ナリ、是ハ・思ヒ寄ラズ・ト云フ、組ミ立テタル言葉ガ、其ノ儘逢フト云フ動詞ニ添フ故、一句ヲ以副詞ト見做スナリ、

合成副詞

○副詞中、外ノ言葉ト熟シテ用フル者ヲ、合成副

詞ト云フ、即此處其處ノ如キモ、上ノ此其ハ代名詞、下ノ處ハ名詞ナリ、又心苦ク手輕ク、ノ類モ、上ノ言葉ハ名詞ナレ共、何レモ合ハセテ一ノ副詞トスベキナリ、

後詞

○後詞ハ、名詞又ハ他ノ言葉ノ下ニ着キテ、種々ノ意味ヲ、細ニ顯ス者ナリ、日本ニテハ、詰シニテモ、文章ニテモ、此ノ後詞ト云フ者無キ中ハ、少モ其ノ意ヲ通ズル能ハザルナリ、即海トハ兩陸ノ間ニ介マリタル所ヲ云フ、トナル文ノ、ト、ハ、ノ、ニ、ヲ、ノ類、皆之ヲ後詞ト云フ、扨此ノ後詞ノ大切ナルコハ、其ノ使ヒ方、少シテモ無理ナル所アレバ、全ク其ノ意味ヲ成サヌ故ナリ、比ヘバ、水ヲ器ニ入ル、ト云ヘバ、器ノ中ヘ水ヲ入ル、ヽ、水ニ器ヲ入ル、ト云ヘバ、水ノ中ニ器ヲ入ル、ヽ、ニテ、唯ニトヲトヲ置キ代ヘルノミニテ、其方意味全ク反對スルナリ、今之ガ種類ヲ分チテ二トス、一ヲ單用後詞ト云ヒ、一ヲ重用後詞ト云フ、

○單用後詞ト云ハ、唯一ノ言葉ニテ、其ノ意味ヲ充分盡クス者ヲ云フ、即ハ、バ、ニ、ヘ、ト、ド、ヲ、ガ、ヨリ、ヅ、

單用後詞

重用後詞

ナド・ナガラ・ノ・ミ・ヤ・マデ・ロ・ツ・テ・デ・モ・ス・ラ・等ノ類ナリ、

○重用後詞トハ、唯一ノ言葉ノミニテハ、其ノ意味ヲ盡クサヌヒ、之ヲ重子テ用フル者ヲ云フ、即ニ・ハ・ニ・ゾ・ニ・デ・ニ・モ・ト・ハ・ト・ダ・ト・モ・ド・モ・ワ・バ・テ・ハ・デハ・ヨリモ・マデモ・等ノ如シ、其ノ二重子タル、ニテハ・ニテモ・マデニハ・トノヒ・ダ・等ノ如キモ、亦重用後詞ナリ、

動詞所属ノ後詞

○以上数多ノ後詞中、バ・ド・テ・デ・ノ四ハ、動詞ニノミ著ク者ナレバ、之ヲ動詞所属ノ後詞ト云フ、其ノ直ニ外ノ言葉ニ著キタルハ、必動詞ヲ略シタル者ナリ、斯ク在リテヲ、斯クテト略スルガ如シ、

○後詞ト普通助動詞トハ、似寄リタル者故、其ノ別チニ迷フ者アラン、然レ共後詞バ、言葉ノ模様ヲ言ヒ起ス為ノ者、普通助動詞ハ、言葉ヲ結デ為ノ者ナリ、但シ・ゾ・ノ・ミ・ノ如キハ、稀ニ結ビノ場所ニモ置クコトアレ共、矢張リ後詞トスルナリ、

○重用ノ後詞ハ、各其ノ言葉ノ意味ヲ持チタル者ナレ共、稀ニハ・ト・モ・バ・ヤ・ノ如ク、少ク其ノ義理ノ變ルコトモアリ、又助動詞ト合シテハカ・ハ・ノ如ク、

反語トナル者モアリ、

接續詞

○接續詞ハ、前後ニ在ル種々ノ言葉ヲ、結ビ付クル者ナリ、即ち大ニシテ且明ナル、曉星又タ星ト云フノ類ノ如シ、其ノ言葉、大抵、且、而、則、但シ、偖、又、將等ナリ、

○接續詞ニ、單用重用ノ別アリ、前ニ擧ゲタル例ノ如キハ、唯一ノ言葉ヲ用ヒタル者故、單用ナリ、且又、將又ノ如ク二ノ言葉ヲ重ネテ用ヒタル者ハ、重用ナリ、

單用接續詞　重用接續詞

動詞ノ形ヲ持チタル者故、動詞狀ノ接續詞ナリ、故ニ、遂ニノ如キ言葉ハ、副詞ノ狀ヲ持チタル者故、副詞狀ノ接續詞ナリ、

動詞狀　副詞狀ノ接續詞

○及ビ、並ビニノ如キ言葉ハ、動詞ノ形ヲ持チタル者故、動詞狀ノ接續詞ナリ、故ニ、遂ニノ如キ言葉ハ、副詞ノ狀ヲ持チタル者故、副詞狀ノ接續詞ナリ、

○而、加之、等ノ言葉ハ、其ノ書キタル漢字ヲ、目當テニ、接續詞トナシテ、別ニ其ノ言葉ヲ分ツニ及バズ、是ノ故ニ、然レ共ノ如キハ、文字ニモ、種々ノ言葉ヲ書キ分タル程ナレバ、一ノ言葉ニハ、ナ子共何レモ前後ヲ結ビ付クル者ナレバ、合成接續詞トスルモ、妨ゲナキナリ、

合成接續詞

合成感歎詞

感歎詞

○感歎詞ハ、話シヤ文章ノ間ニ於キテ、喜ビ怒リ哀ミ樂ミ驚キ畏レ等ノ聲ヲ、不意ニ投ゲ入ル、ヲ云フ、故ニ之ヲ間投詞トモ云フナリ、即イデ・イザヤ・アヽ・等ノ如シ、其ノ外俗ニ用フル感歎詞ハ、誠ニ数多アリ、即ハアワアヤ等ノ類ナリ、

○種々ノ言葉ヲ、一ニ合ハセテ、感歎詞トスルアリ、イヲ慨メシヤノ如シ、

以上名詞ヨリ感歎詞ニ至ル迄、八通リニ分チタル言葉ヲ、八品詞ト云フ、此ノ八品詞ノ内、何レニモ、拘リ合ヒアル言葉アリ、之ヲ下ニ掲ゲ、

冠詞

○冠詞或ハ枕言葉共云フ、是ハ其ノ目指ス言葉ヲ、云ヒ出ス為ニ、上ニ置ク言葉ニシテ、其ノ中ニ重ナル意味アルニハ非ザルナリ、比ヘバ千磐破ル神ノ世・片絲ノ寄リ々々・等ノ如シ、是ハ神ト云ハンガ為ニ、神ヲ賛ハル言葉ヲ、前ニ置キ、寄リ々々ト云ハンガ為ニ、絲ヲ撚ルト云フ言葉ヲ假レルナリ、尤是ハ近キ射ノ文ニハ用ヒザルナリ、

枕ケ言葉

○拙ケ言葉ハ、其ノ言葉ノ外ニ別ニ一ノ意味ヲ持タセタル者ナリ、即知ルモ知ラヌモ逢フ、ト云フヨリ、其ノ逢フヲ假リテ、直ニ逢坂ノ關ト云ヒ、美濃尾張ト云フ中ニ、身ノ終リト云フ意ヲ持タセタル類ナリ、是モ當時ハ、餘リ用ヒザルナリ、

複語

○複語ハ、重子言葉ナリ、名詞代名詞ノ、山々、是々、ノ如キハ、皆複數ヲ顯ス為ニ用フルナリ、其ノ外卓々、皿リ皿リ、又々、嗚呼々々、ノ如キハ、唯意味ヲ強ムル為ニ用フルナリ、

熟語

○熟語ハ、前ニモ度々擧ゲタル如ク、二三ノ言葉ヲ合ハセタル者ナリ、比ヘバ形ト云フ言葉ト作ルト云フ言葉トヲ合ハセテ、形ルト云フ言葉トナシタル類ナリ、其ノ外無理、非道、ノ類モ、音ニテ讀ム上ハ、熟シテ一ノ言葉ト見做スベシ、

◎文章論

起語結語

○文章ハ、已ノ思フ所言フ所ヲ記ス者ニシテ、二三ノ言葉ヨリ、數萬ノ言葉ヲ合ハセタル者迄、總

ベテ之ヲ文章ト云フナリ、此ノ文章ニ、起語結語ト云フアリ、起語トハ言ヒ起ス言葉、結語トハ其ヲ止ムル言葉ナリ、比ヘバ、人ハ過グト云フ文ノ、人ハ、ト云フハ、起ス言葉、過グト云フハ、其ヲ止ムル言葉ナリ、

此ノ起語ト結語トニ、自然極リタル法アリテ、其ノ言ヒ起シ方ニ由リ、結ビ方モ從フテ異ルナリ、比ヘバ、人ハ、ト起セバ、過グト止ム、人ヤ、ト起セバ、過グル、ト止ムルガ如シ、猶下ノ章ニ、其ノ謂ヲ說カン、

第一節　第二節　第三　起語

○起語ニハ、ハ、モ、徒、ゾ、ノ、ヤ、何、コソ、ト云フ、八ノ言葉遣ヒアリテ、結語ト覘ミ合フ一ナリ、其ノ中ハ、モ、ゾ、ノ、ヤ、コソハ、皆後詞ナリ、後詞ハ、皆起語ナレ共、唯ハ、ト、ゾ、ノ、ヤ、ヒ、ノミ、結語ト相リ合ヒアル者ト知ルベシ、徒トハ、人過グト云フ如ク、ハ共ヤ共ゾ共付ケヌヲ云フ、何トハ、誰カ如何ニノ如ク、疑ヒノ意ヲ持チタル言葉ノ總名ニシテ、誰カ過グルト云フ樣ナル類ナリ、

扨此ノ八ノ起語ヲ、部分ケスルキハ、第一ヲハ、モ、徒トシ、第二ヲゾ、ノ、ヤ、何トシ、第三ヲコソトス、之ヲ三條ニ分ツ所以ハ、其ノ結ビ言葉ニ、三ノ違ヒ

ヲナスヲ以ナリ、

○結ビ言葉ニ、三ノ違ヒアルト云フ謂ハ、取リ樹ミテ云ヘバ、ハ・モ・徒ヲ結ブ言葉ハ、語尾ニ宇横行ノ音ヲ持ツ者ナリ、人ハ過ダ・ノ如シ、ゾ・ヤ・何ヲ結ブ言葉ハ、其ノ言葉ノ下ニルヲ添ス、人ヤ過ダル・ノ如シ、コソヲ結ブ言葉ハ、其ノ言葉ノ下ニレヲ添ス、人コソ過ダレ・ノ如シ、猶下ノ圖ヲ見テ之ヲ覺ルベシ、

起語結語ノ圖

ハ、モ及ビ言葉、軽キ阿ノハ、重キ言葉ナル故、二ノ者重ルトキハ、重キ方ニ由リテ結ブ、ト通ズル者ニシテ、動詞ニテ其ノ意変ノ者ナリ、即ち雑ノ類ノ、

ハモ徒	ゾノヤ何	コソ
ウ 植ウ	ウル 植ウル	ウレ 植ウレ
ク 来 過ダ	クル 来ル 過ダル	クレ 来レ 過ダレ
ス 仕ス 寄ス	スル 仕スル 寄スル	スレ 仕スレ 寄スレ
ツ 立ツ 出ヅ	ツル 立ツル 出ヅル	ツレ 立ツレ 出ヅレ
ヌ 尋ヌ 重ヌ	ヌル 尋ヌル 重ヌル	ヌレ 尋ヌレ 重ヌレ
フ 添フ 嫌ナフ	フル 添フル 嫌ナフル	フレ 添フレ 嫌ブレ
ム 止ム 泳ム	ムル 止ムル 泳ムル	ムレ 止ムレ 泳ムレ
ユ 見ユ 聞ユ	ユル 見ユル 聞ユル	ユレ 見ユレ 聞ユレ
ル 乱ル 流ル	ルル 乱ルル 流ルル	ルレ 乱ルレ 流ルレ

不成助動詞、及ビ其ノ外ノ助動詞モ、起語ニ由リテ、結ビ方各變ズルナリ、第二ノ結ビニテ、ル付クル能ハザル

ウ 率ウ 飢ウ	ウル 率タル 飢ウル	ウレ 率ウレ 飢ウレ	ズ 知ラズ 替ラズ	ヌ 知ラヌ 替ラヌ	子 知ラヂ 替ラヂ	ツ 言ヒツ 思ヒツ	ツル 言ヒツル 思ヒツル	ツレ 言ヒツレ 思ヒクレ	ヌ 成リヌ 絶エヌ	ヌル 成リヌル 絶エヌル	ヌレ 成リヌレ 絶エヌレ
キ 問ヒキ 答ヘキ	シ 問ヒシ 答ヘシ	シカ 問ヒシカ 答ヘシカ	リ 有リ タリ	ル 有ル タル	レ 有レ タレ	ス 言ヒス 思ヒス	セ 言ヒセ 思ヒケレ	ケ 言ヒケ 思ヒケレ	シ 善シ 嬉シ	キ 善キ 嬉キ	ケレ 善ケレ 嬉ケレ
ク 書ク 行ク	ケ 書ケ 行ケ	テ 打チテ 待テ	ツ 打ツ 待ツ	フ 言フ 思フ	ハン 言ハン 思ハン	ヘ 言ヘ 思ヘ	メ 言メ 思メ	レ 言レ 思レ	第三ノ結ビニテ、ル付クル能ハザル		

言葉ハ、節一ノ如ク、其ノ儘ニ結ブ、

言葉ハ、節尾ヲ衣物行ニ變ジテ結ブ、

フ 言フ 思フ	ハン 言ハン 思ハン	ヘ 言ヘ 思ヘ	メ 言メ 思メ
ル 契ル 降ル		レ 契レ 降レ	

轉語略語

○轉語トハ、前ノ法ノ如ク、上ノ言葉ヲ結ブベキ筈ナルニ、猶言ヒ足ラヌ所アル故、下ヘ移シ續クル言葉遣ヒナリ、比ヘバ學校ニ出デ、ハ書物ヲ讀ミ又手習ヒスベシ・ト云フ文ニテ云ヘバ、學校ニ出デ、ハ書物ヲ讀ム・ト結ブベキヲ、下ヘ移ス

為ニ、讀ミト云フガ如シ、然レ共是ハ一度移シテモ、二度移シテモ、必終リニ至リテ、之ヲ結ブナリ、即手習ヒスベシ・ト結ベルガ如シ、

○略語ト、ハ、上ノ言葉ヲ、助動詞ニテ結ブヒ、或ハ之ヲ省キテ、用ヒザルヲ云フ、比ヘバ・遊歩ヲ為スハ運動ノ為・ト云フ文ハ、運動ノ為ナリ・ト結ブベキヲ、略シタルガ如シ、

○起結轉略ノ謂、前ニ擧ゲタルガ如クナレ共、初學ノ覺リ易カラン為、短キ文ヲ下ニ擧ゲテ、其ノ例ヲ知ラシム、

氷氣ノ起多ク蒸騰シ轉ス、大陽ノ光ニ映ズ（リ結ナガテ轉ズ）時ハ、起虹ト為ル結虹ニハ、起其ノ色起十（リ、結上ハ起赤色ニシ轉テ、次ヲ柑色ト入、結黄色起之ニ次ギ、轉緑色起又之ニ次グ、結次ハ起青色、略次ハ起紺色、略次ハ起紫色ナリ、結

變格

○變格トハ、起語ト結語ト、前ノ法ノ如ク、覘ミ合ハザル者ヲ云フ、即・ヤ・何・ノ起語ハ、何レモ第二ノ結語ニテ、結ブベキヲ、第一ノ結語ニテ結ブヲ云フ、比ヘバ・賜ヤ過ギタル・ト云フベキヲ、賜ヤ過ギ

タリ・ト云ヒ、孰カ之ヲ命ズルト云フヤヲヲ、孰カ之ヲ命ズ・ト云フガ如シ、

○音調論

緩急音

○緩トハ、言葉ヲ柔ク遣フ・ナリ、即幷ヲ・カウガイ、書キテ・ヲ書イテ・ト云フガ如シ、急トハ、言葉ヲ強ク遣フ・ナリ、即涕ヲナンダ、取リテ・ヲ取ッテ・ト云フガ如シ、

曲直音

○言葉ヲ出スニ、同聲ニテモ、其ノ儘真直ニ出スト、曲ゲテ出スヿアリ、即橋ト箸、飴ト雨ノ如シ、

熟語音

○二三ノ言葉ヲ熟シテ、一言葉トナシタル者ハ、其ノ都合ニ由リテ、音ヲ濁リ、又ハ變ズルヿアリ、即鬼瓦・日本橋・ト云ハズシテ、鬼ガハラ・日本バシト濁リ、上書・雨宿リ・新校・ト云ハズシテ、ウハ書キ・アマ宿リ・新バシ・ト云フガ如シ、

漢字音

○漢字ニハ、一文字ニテ、漢音ト呉音トノ二ヲ持チタル者多クアリ、比ヘバ先生ノ生ハ漢音、養生

ノ生ハ呉音、經書ノ經ハ漢音、佛經ノ經ハ呉音ナルガ如シ、

約音助音

○約音トハ、其ノ儘ニ遣フベキ言葉ヲ、或ハ縮メ、或ハ省クヲ云フ、聞キ度クアリシ・ヲ、聞キ度カリシ・ト縮メ、持チテ・ヲ、持テ・ト省クガ如シ、助音トハ、二ノ言葉ノ間ヘ、意味ナキ聲ヲ、助ケ入ル、ヲ云フ、沖ツ波頃シモ・無クンバ・等ノ如シ、此ノ言葉ハ、皆後詞ニ屬スル者トス、

歌ノ調子

○歌ハ、文章ノ中ノ一端ニテ、其ノ言葉善ク調子ニ合フヲ第一トス、日本ノ言葉遣ヒニテハ、五文字ト七文字トノ句、善ク調子ニ合フヲナリ、故ニ歌ハ、五文字七文字五文字七文字七文字ト、都合三十一文字ニテ、作ルナリ、其ノ外長歌ニテモ、發句ニテモ、又ハ世間ニテ謠フ所ノ、流行謠ノ類ニテモ、長キト短キトノ違ヒコソアレ、何レモ五文字ト、七文字トヲ以、句調ヲナスナリ、但シ稀ニハ字餘リトテ、五文字ヲ六文字トシ、七文字ヲハ文字トスルヲアリ、多クノ歌ニ就キテ、善クク考

ハ見ルベシ

日本小文典巻之下終り

明治九年八月七日
版權免許
著者 中根淑藏版
東京下谷仲徒士町
四丁目三十二番地
東京馬喰町二丁目一番地
發兌書肆
森屋治兵衛